

**創業の
情報提供したい**



**Masataka Yoshitake
吉武 雅剛 さん**
市商工課商工労政係主査。39歳。大分市出身。1999年入庁。県内で唯一の伝統的工芸品に指定された別府竹細工は別府の自慢だと思う。

**別府に
どっぷり
漬かりたい**



**Masamitsu Katsu
勝 正光 さん**
大阪府出身、32歳。鉛筆画家。武蔵野美術大学卒。市内の清島アパートに住み、地域とのつながりを大事にアーティスト活動を展開している。

**人との
つながりが
絶対大切**



**Maya Honda
本田 麻也 さん**
糸びす屋旅館おかみ。48歳。2011年に同旅館の代表取締役社長就任。身体にもココロにもいい街づくりを人のつながりで広げたい!

**正確に伝えて
いくことが
重要**



**Masamichi Hori
堀 真通 さん**
びあ総合営業局次長。別府市出身、東京都在住、41歳。オリンピック・パラリンピックをはじめ、国際的なイベントのチケット事業などを担当。

**ウィンーウィンの
関係つくりたい**



**Syujiro Mori
森 修二郎 さん**
市文化国際課文化国際係主任。35歳。竹田市出身。2008年入庁。観光課に5年間在籍し、現職2年目。自宅をセルフビルドしたい。

**アジアから
滞在型利用者呼ぶ**



**Misuzu Okamoto
岡本 美鈴 さん**
大分市出身、40歳。大分ロケアセンター・プロモーター。県内外で企業や行政の広報に携わり、2013年から現職。立ち上げメンバーの一人。

**商店街での
起業促進を**



**Shunsuke Goto
後藤 俊介 さん**
介護福祉事業や留学生支援事業を展開するRELAY代表取締役。31歳。地元地域と全国、日本と世界をつなげているリーダーになりたい。

**天狗の物語
広めたい**



**Shinichi Sakai
坂井 慎一 さん**
別府やよい商店街振興組合専務理事。47歳。坂井文紙商会代表取締役専務。夢は別府市中心市街地の活性化とスポンジボールテニスの普及。

**大運動会を
やりたい**



**Tomoko Ko
神 智子 さん**
別府インターナショナルプラザ案内人。49歳。2012年に多文化交流サークル「べっばち Beppu Rainbow Society」を設立し、代表を務める。

**学生に竹の
ワークショップ開く**



**Kenichi Otani
大谷 健一 さん**
埼玉県出身。49歳。別府竹製品協同組合専務理事。竹かご製作工房「竹風舎」主宰。夢は別府の竹工芸が世界中に認知されること。

**要は楽しそうに
宣伝できるか**



**Kuniaki Kadowaki
門脇 邦明 さん**
NPO法人ハット・オン・パク事業マネージャー。41歳。オンパクモデルの普及、とり天や冷麺の広報、別府路地裏バールの開催などに取り組む。

**別府が
アジアのハブに**



**Shuichi Hiroishi
広石 修一 さん**
2000年入社。社会部、政治部、豊後高田支局などを経て整理部。37歳。頼もしく感じた別府の可能性や多様性を、紙面を通じて伝え、伝えていきたい。

**一人一人が
“観光地”に**



**Hirotugu Momosaki
百崎 浩嗣 さん**
2002年入社。政治部、由布支局、社会部を経て報道部。35歳。数ある魅力をつなぎ、人々がなれば、別府観光の可能性は無限!

**混ぜて起こる
“化学反応”に期待**



**Nobuaki Eto
江藤 伸彰 さん**
1998年の入社以来、整理部勤務。39歳。別府のさまざまな魅力をごちゃ混ぜにして起こる“化学反応”を楽しみにしています!

**みんな
プライドを
持とう**



**Hidehiko Hida
樋田 英彦 さん**
市ONSENツーリズム部観光課長補佐兼誘致宣伝係長。46歳。1992年入庁。別府市はどの年齢層にも対応、受け入れできるところが自慢。

**ソフト関連の
会社誘致を**



**Masanori Kagino
鍵野 正則 さん**
中小企業診断士。大分県よろず支援拠点コーディネーター。熊本市出身。九重町在住。46歳。コンサルティングカフェ&民宿を開きたい。

**確固たる資源を
生かして**



**Madoka Yamasaki
山崎 円 さん**
JTB九州コミュニケーション事業部地域共創戦略室長。福岡県出身。福岡市在住。45歳。リレーマラソンなどスポーツを通じた交流事業を推進。

**今あるものを
磨いて使いたい**



**Taisei Kimura
木村 大成 さん**
長野県出身。39歳。悠彩の宿舎海代表取締役社長。温泉資源、海・山の幸が豊富な別府という観光地は今後どうなっていくか、気になる。

魅力に気づく原点“改気”

大分合同新聞社が、「地域や人々とのつながりを大切に、長期的なビジョンを共有しながら一緒に地域の未来をデザインしたい」との思いで展開しているプロジェクト・ミライデザイン会議「ハビカム」。第12弾となる別府市編が7日、同市のピーコンプラザなどであった。それぞれに興味異なる八つの温泉地を有す全国屈指の観光名所であるとともに、近年は多くの留学生が集まる国際都市の顔も持つ別府市。将来を担う若手リーダーと同世代の大分合同新聞社員らが、分科会と総括会議を通して市の未来を描く白熱の議論を交わした。「基軸深耕(コーディネーター/百崎浩嗣)」「協働交流(コーディネーター/江藤伸彰)」「起業挑戦(コーディネーター/広石修一)」の3分科会にはそれぞれ、関連する現場で活躍する若手リーダーが4人ずつ出席。外部アドバイザーやコーディネーターの記者と共に語り合った。分科会の内容をテーマごとに紹介する。総合アドバイザーは電通クリエイティブディレクターの並河進氏。総合コーディネーターは田崎啓三・大分合同新聞社文化科学部長。

主催/大分合同新聞社 共催/別府市 別府商工会議所 協賛/国立大学法人 大分大学 (株)大分銀行 (株)ドコモCS九州大分支店 日本たばこ産業(株)熊本支店 亀の井バス(株)

総合アドバイザー	総合コーディネーター
 Susumu Namikawa 並河 進 さん 電通クリエイティブディレクター。41歳。上智大学大学院、東京工業大学非常勤講師。社会貢献と企業をつなぐソーシャルプロジェクトを数多く手掛ける。	 Keizo Tasaki 田崎 啓三 さん 1991年入社。社会部、竹田支局、経済部、日田支社を経て文化科学部長。46歳。実は昨年、ちよいちよい別府で飲んでいます。大分駅から3駅だし…。

総括会議の様子は9月27日(土)の朝刊をご覧ください。

ウェブ <http://www.oita-press.co.jp> 3x3 <http://www.oita-press.co.jp/h-come/>

感動を、 シェアしたい。

夢を共に分かちあう。厳しさを共に実感する。

長い時間を共に過ごし、考え抜き、とことん話し合う。

それも、ひとりの行員とお客さまという関係を超え、何としてもお役に立ちたいという、

執念に近い情熱。アイデアにあふれ、期待に応える提案。

また、ひとりの人間としての信頼。そこで、はじめて、強い絆が生まれる。

やりきること。挑戦すること。諦めないこと。

そして、地域の皆さまやお客さまと、その発展・成功と共に喜び、

「大分銀行で良かった」と感動して頂くこと。

それが私たちの、感動です。

 **大分銀行**

